



福山市民病院オープンカンファレンスのご案内

がん疼痛治療の新しい展開

～ 患者さんの QOL のために ～

- ◇ がん治療の進展は目覚しく、生存率の大幅な改善から不治の病とは言いがたい状況になりつつあります。
- ◇ その結果、ますます患者さんの QOL に対する意識は高まり、がん疼痛管理は終末期だけでなく、初期のがん治療においてもその重要性は高まりつつあります。
- ◇ 今回は、泌尿器科医としてがん治療を実践しながら、疼痛治療や緩和ケアチーム医療にも力を注いでおられる大阪府立成人病センター 泌尿器科 目黒則男先生をお招きし、ご講演を頂いた後、ご参加の皆様が日常の診療の場で感じておられる疑問点などについてご討議頂く場を用意させていただきました。
- ◇ 日頃、臨床の場で困っておられるがん疼痛に関する症例やオピオイド鎮痛薬の詳細な使い方等に関するご質問、ご意見等を是非当日お持ちより下さい。
- ◇ 適正な疼痛管理の普及と疼痛薬物療法ががん患者さんにもたらす真の価値や可能性について検討して頂く一助となれば幸いです。

『福山市民病院 緩和ケア病棟のご紹介』(15分)

古口 契児

福山市民病院 緩和ケア科

特別講演

『臨床医のためのがん疼痛治療の課題とオピオイド鎮痛薬の使用法』

～オキシコドン徐放錠を中心に～

目黒 則男 先生

大阪府立成人病センター 参事兼泌尿器科医長

日時：平成18年3月23日(木) 18:00～19:30

会場：福山市民病院 本館 2階 講堂

福山市蔵王町5丁目23-1

TEL:084-941-5151

FAX:084-941-5159



問い合わせ先 福山市民病院 緩和ケア科 古口